

熱田ブランド推進プロジェクト “あつた人（びと）” になろう！

桑名の「七里の渡し」 ～本物力こそ、桑名力～

昔、尾張国と伊勢国は、熱田宮宿～桑名宿の「七里の渡し」で結ばれていました。江戸日本橋から京都三条大橋に至る東海道のうち唯一の海路であった七里の渡しは、その距離が七里（約28km）で、当時順調にいったら4～6時間ほどの船旅でした。

明治に入り、隣の四日市港が開港され、さらに明治27（1894）年に関西鉄道の桑名駅が開業、翌28年に名古屋駅と結ばれたことにより、七里の渡しの渡船も閉鎖されました。



七里の渡し 宮宿
(熱田区歴史資料室)



七里の渡し・東海道中図
(熱田区歴史資料室)

参考(外部リンク) 再発見！七里の渡しの魅力：youtube 版 （熱田区と名学大作成の動画。）

https://www.youtube.com/watch?v=0A_VK1iQh34

桑名市さんは、“本物力こそ、桑名力”のキャッチフレーズの下、「桑名ブランド」の取り組みを進めておられます。桑名の関係者の皆さんには、熱田区においても、区民まつりや魅力発見市、宮宿会さんの朔日市に毎月出展いただき、桑名の魅力を発信されています。



本物力こそ 桑名力



今回は、熱田区とも縁の深い
桑名のまちを訪問したいと思います。
(朔日市で買った、桑名名物の
桑名コロッケとスマックです。)

東海道 42 番目の宿場町 桑名

桑名のまちは、三重県北部、木曽三川の揖斐川河口部に位置し、古くから河川交通、伊勢湾の海上交通を担う交通の要衝でした。江戸時代、桑名藩11万石の城下町、東海道42番目の宿場町で、宮宿に次いで東海道中第2位の宿数を誇りました。桑名の「七里の渡し」は、伊勢の国の東の玄関口として「一の鳥居」を有し、桑名宿の中心として賑わいました。



勢州桑名湊 出典：Tokyo Museum Collection

<https://www.edohakuarchives.jp/detail-5011.html>

現在、桑名の七里の渡跡は、入り江を囲むような形で公園として整備されています。「一の鳥居」は、伊勢神宮の宇治橋外側の鳥居を移築したもので、式年遷宮に合わせて20年ごとに建て替えが行われています。



一の鳥居に隣接する「蟠龍櫓（ばんりゅうやぐら）」です。

‘海道の名城’と謳われた桑名城の七里の渡しに面して建てられていた隅櫓で、航海の守護神としてここに据えられたといわれています。（蟠龍とは、龍が天に昇る前のうずくまった状態のことをいいます。）

東海道を行き交う人々が必ず目にする桑名城のシンボルでした。今の建物は、外観を再現した水門の管理棟で、2階が展望室とミニ展示室になっており、水門統合管理所としても使われています。



蟠龍櫓内部の展示の様子

七里の渡し跡～旧東海道を中心に、桑名のまちを歩いてみます。

一の鳥居の前に立つ「宿場の茶店 一（ハジメ）」です。

どら焼きやあったか白玉が名物の和カフェです。手ぬぐいやキーホルダーなどのお土産物や「桑名城御城印」を販売している他に、「七里の渡しマンホールカード」も配布しています。散策途中の休憩に最適なお店です。

地方創生推進交付金を活用して桑名市が事業委託し、地元有志の民間組織「桑名ブランド協議会」が桑名宿のインフォメーションショップとして運営を行っているそうです。



そのすぐ近く、旧東海道沿いにある昔の本陣跡の建物を活用した料亭です。

桑名には、2つの本陣と100軒を超える旅籠がありました。





「道標」

旧東海道筋に建てられていたもの（場所不詳）を桑名市博物館横に移設したものです。右 京いせ道、左 江戸道とあります。

「春日神社（桑名宗社）青銅鳥居」

桑名の地名の由来となった桑名開発の祖といわれる豪族「桑名首（くわなのおびと）」。

古来、桑名の総鎮守としてその祖神を祀っています。日本一やかましい祭と称される「石取祭」でも有名です。神社の前に立つ青銅の鳥居は、三重県の文化財に指定されています。



「本多忠勝像」

江戸時代初代の桑名藩主で、「慶長の町割り」と呼ばれる城下町の整備を行い、桑名の町並みの基礎をつくりました。徳川四天王の一人で、関ヶ原の戦いの後に桑名に入りました。

「九華公園」

桑名城址（本丸、二の丸跡）に造られた公園です。



「寺町通り商店街」

九華公園から桑名駅の間にある古くから続く商店街です。毎月3と8がつく日に開かれる朝市「三八市」は、桑名の名物です。

「はまぐりプラザ（桑名市城東地区複合施設）」

桑名の漁業の歴史と文化を展示しています。目の前には桑名港があり、はまぐり料理を食べられる食堂も併設しています。



「六華苑（旧諸戸清六邸）」

鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによるもので、洋館と和風建築、池泉回遊式庭園を有します。



“本物力こそ、桑名力”

桑名のまちを歩いて、改めて落ち着いた良いまちだと思いました。そして史跡を見たり、お話を聞いたりする中で、『‘本物’を見つけ出し、磨き上げ、素晴らしいものにしていく、そして桑名を魅力的なまちにしていく。』という「桑名ブランド」のコンセプトに基づいてさまざまな取り組みが進められていると感じました。「熱田ブランド」の推進にも学ばせていただくところが多いと思います。

紹介しきれませんが、桑名のまちには、見どころも多く、おいしい食べ物も多いです。機会がありましたら桑名のまちを訪問してみてください。‘本物’の魅力を感じられると思います。